

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

洋野町教育委員会「放課後子ども教室」の成果と課題(岩手県洋野町)

取組事業

放課後子ども教室開設事業

活動実施 場所

・種市小学校(ダイちゃんの家)・角浜小学校(角浜フレンドパーク)・宿戸小学校(わくわく広場)・中野小学校(わんぱく中野塾)

取組概要

【放課後子ども教室事業】

学校の空き教室等を活用して放課後子ども教室を設け、地域の人たちを安全管理員として配置し、種市地区の全小学校(4カ所)に設置する。その中で、教育振興運動と連携し「読書活動の推進」と「家庭学習の充実」を各教室に組み入れるほか、ものづくりなどの体験的活動や地域を知る活動などを実施する。学校・地域が一体となり、地域全体で放課後等の安全・安心な居場所づくりに努めるとともに、放課後児童クラブと連携し、洋野町放課後子ども総合プランを推進する。

◎各教室とも毎月コーディネーターを中心として安全管理員と活動内容を協議し、地域の実情に応じた回数(65日~200日程度)を開催する。
 <開催期間H28.4~H29.2 各教室とも概ね2時間で、安全管理員を3人程度配置し、宿題、ものづくり、昔あそび、スポーツなどを実施>

【種市小学校(ダイちゃんの家)144回開催】【角浜小学校(角浜フレンドパーク)49回開催】

【宿戸小学校(わくわく広場)42回開催】【中野小学校(わんぱく中野塾)76回開催】

※H28.4~11月末までの実績



体験学習1



体験学習2

事業成果

【放課後子ども教室事業】

- ・ 勉強場所の確保という目的だけではなく、地域の大人を安全管理員として配置していることで、子ども達が地域の自然や昔遊び、方言などを学ぶことなど、郷土愛を深める機会となっている。
- ・ 「地域の子どもは地域で守る」という考えで実施することで、大学生から母親世代、祖父母世代までの幅広い年代が参画し、世代間交流の場になっている。

<子ども教室参加者数 ※H28.4~11月末まで ()内は昨年度同期間の人数>

開設学校名	教室名	児童数	述べ参加児童数	延べ安全管理員数
種市小学校	ダイちゃんの家	212人 (216人)	3,518人 (3,456人)	567人 (432人)
角浜小学校	角浜フレンドパーク	33人 (39人)	677人 (687人)	146人 (147人)
宿戸小学校	わくわく広場	96人 (115人)	986人 (317人)	111人 (90人)
中野小学校	わんぱく中野塾	94人 (96人)	1,169人 (1,650人)	230人 (216人)
参加者合計		435人 (466人)	6,350人 (6,110人)	1,054人 (885人)

課題や今後の取組

(課題)

- ・ 特に児童クラブと一体的に運営している教室では、活動にあたっての自由度の制限や一緒に活動を嫌がる児童もおり、子ども達が楽しんで参加したくなるテーマ、企画づくりが重要である。
 - ・ 地域の安全管理員やボランティアの安定的な確保が重要である。
- (今後の取組)
- ・ 安全管理員について、各種研修会への積極的な参加を促すことで、個人と教室全体のスキル向上を図るとともに、子ども、家庭そして地域のニーズをとらえた運営ができる体制づくりを目指す。